

はし たび ぶらり 橋めぐりの旅 全巻

にほん ひゃくめい きょう えら はし くるま わた
～日本百名橋に選ばれた橋は車いすでも渡りやすいのか～

※ウィキペディアより～日本百名橋は、橋梁工学の専門家である大阪市都市工学情報センター理事長の松村博が、その著書『日本百名橋』において私選した日本の100の橋。

この日本には「橋」っていったい何本あるんだろう？
何万本？、何千万本？、それすらわからない・・・。
でも本当に小さな橋にも名前がついていたりしますよね。
それは土地の名前が多いみたいだけど、小さくても名前には込められた意味があり、そしてその橋には歴史があるみたいです。

ぶらり×2、橋めぐりへ

●調査日：09年11月2日



よどやばし

淀屋橋

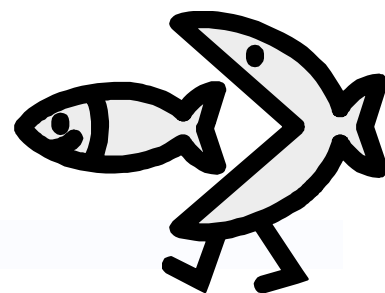
ウィキペディアより～

淀屋橋は、大阪市の土佐堀川に架かる橋。甲斐島（花区）の南岸と船場側（甲斐区）を結ぶ。国の重要文化財に指定されている。またこの橋を中心とした地域名でもある。橋名の由来は、江戸時代の豪商・淀屋がこの橋を架橋し管理したことによる。





渡る人には市役所やビジネス街
に向かうスーツ姿の人が多い
よ。
欄干や横から見ると歴史のあ
る橋って感じがしますよね。



なにわばし

難波橋

難波橋は、大阪市の旧淀川に架かる橋。大阪府中央区北浜～北区西天満の堺筋にかか
る、全長189.7m、幅21.8mの橋である。江戸時代には天神橋、天満橋と共に浪花三
大橋と呼ばれ、表記は「浪華橋」が一般的であった。堺筋の西隣にある難波橋筋に
架かっており、橋の長さが108間（約207m）もの天型の反り橋だったという。1661年
（寛文元年）天神橋とともに公儀橋とされた。1912年（明治45年）、大阪市電堺筋線
の北浜以北への延伸に伴い、現在の場所に架け替えられた。



橋の幅は広いです。
普通の道路って感じ。で
も欄干のライオンは
格好いいよ～。

こうらいばし

高麗橋

高麗橋は、大阪府大阪市中央区にある東横堀川にかかっている橋とその周辺地域の地名である。橋の名の由来は、古代に朝鮮半島諸国の使節を迎えた「高麗館」があったからという説と、豊臣秀吉の大阪町割りの際、この辺に朝鮮との交易の拠点があったという説など、多数ある。



淀屋橋、難波橋に比べるとちょっと
小さめかな。
欄干に朝鮮半島の情緒があるよ。



しんさいばし

心斎橋

心斎橋は、大阪市中央区心斎橋筋周辺の繁華街。または、かつて存在した長堀川に架かっていた橋。



ここが一番普通の道路(横断歩道)って感じ。っていうか、橋じゃないじゃん！川もないし…。僕らも始めこの橋がどこにあるのかわかんなかったけど、ここが橋だとわかって渡っている人っているのかな？でもあなとるなかれ、明治42年に架けられた歴史のある橋なんですよ。

この日に調査した淀屋橋、難波橋、高麗橋、心斎橋のどの橋も
車いすで渡るのに問題ないですよ(^_^)v

ながえ ばし きたく

長柄橋(北区)

● 調査日：09年11月30日



ウィキペディアより～

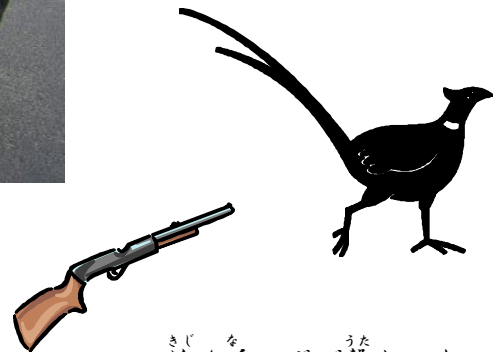
長柄橋とは、淀川に架かるアーチ橋である。大阪市北区本庄 東 と大阪市東淀川区柴島とを結ぶ 全長 656.4m 、幅員20m の橋である。大阪府道・京都府14号大阪高槻京都線の一部である。

「嵯峨天皇の御時、弘仁三年夏六月再び長柄橋を造らしむ、人柱は此時なり（1798(寛政10)／秋里離島／攝津名所圖會）」と長柄橋の名は、古代より存在した。しかしこの長柄橋は、現在の場所とは異なる場所にあり(当時は川筋が現在とはかなり違った)、現在の大阪市淀川区東三国付近と吹田市付近とを結んでいたとされているが、正確な場所についてははっきりしない。平安時代初期まで橋があったが、架け替えられないまま廃止されたという説が有力。現在の大阪市淀川区東三国に、古代長柄橋の人柱 碑が残っている。長柄人柱 伝説は、「長柄の人柱」や「雉も鳴かずば打たれまい」という「口は災いのもと」という意味のことわざの由来とされている。



↑ バイク止めがあって、車いすで土手には下りられないよー(>_<)

車いすでこの橋を渡るのに歩道もあり、特に問題はないよ～！



雉も鳴かずば撃たれまい

住吉の反橋(住吉区)

●調査日：09年11月9日



ウィキペディアより～

住吉反橋は、大阪市住吉区の住吉大社境内に架かる橋である。橋については慶長年間（16世紀末～17世紀初頭）に最初に造営されたと伝えられている。造営者については、豊臣秀頼が造営したという説と、淀殿が造営したという説がある。通称で「太鼓橋」とも呼ばれる。橋の長さは約20m、幅は約5.8mの木造桁橋である。橋中央部の高さは4.4mで、中央部を頂点として半円状に反っている。最大傾斜は約48度となっている。地上と天上を結ぶ虹に例えられていたため、橋が大きく反っている構造になっていると考えられている。架橋当時は住吉大社付近に海岸線があり、本殿と対岸の入り江を結ぶ目的で架橋された橋だとされている。現在は池の上に橋が架かっている形になっているが、この池は当時の入り江の名残だとされている。橋の基礎部分については創建当初のものをそのまま使用していると考えられている。その一方で、木製の橋桁や欄干は老朽化に伴って何度もかけ直され、直近の掛け替えは2009年におこなわれた。



大工さん渡り中。この日、改修中でした・・・

くるま いすでこの橋を渡るのは、ほぼ不可能。もし渡るなら命がけだな・・(>_<)

日本名百橋、今回調査した中では「住吉の反橋」だけが車いすでは「この橋、渡るべからず」でした。

でも普段、なにげに渡っている橋にもその歴史があったり地元の人たちの思いがこもっていたりするんですね。皆さんも近くの橋を調べてみたらおもしろいかも・・・。

(by みっちー)



住吉大社本殿前で、はいチーズ！